



3・12富山集会

東日本
大震災
5年

3/13 北中日

さようなら原発 声上げ続けて

東京電力福島第一原発事故から5年に合わせ、原発廃止を訴える「さようなら原発」富山集会が12日、富山市奥田新町のボルファートとやまであった。関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）の運転停止を命じた9日の大津地裁の仮処分決定で住民側弁護団長を務めた井戸謙一さんが講演し「事故のリスクを住民に引き受けさせてはいけない」と力説した。

井戸さんは裁判官時代の2006年、金沢地裁で裁判長として北陸電力志賀原発2号機の運転差し止めを命じた。講

演では大津地裁の判決内容を説明し「関電は福島事故の原因究明が不十分で、想定する地震の規模も小さく見積もっていることが裁判で認められた」と語った。

福島第一原発事故については「最悪の場合、250キロ圏内の3500万人に影響が及んだ」と指摘。現在も原子力緊急事態宣言が発令中であることや、福島県内に甲状腺がんを発病した子どもが多いことを挙げて「政府は事故が終わったように言っているが、原発を止めよう市民が声を上げ続けないといけ

ない」と呼び掛けた。
高浜差し止め住民側弁護団長
井戸さん富山の集会に



ない」と呼び掛けた。

集会は、富山県平和運動センターや反原発の県民でつくる実行委員会が主催し約400人が参加。講演後には北陸電力本店（富山市牛島町）前で「なくそう原発」などとシュプレヒコールを上げた。

(杉原雄介)

原発の危険性を訴える井戸謙一さん
12日、富山市奥田新町のボルファートとやまで



戦争法廃止! スタンディング宣伝 第3弾



暴走する安倍政権の退陣を

日 時： 3月19日（土） 12:10～12:40

会 場： 富山駅・マリエ前ほか

オールとやまの情況

18(金) 4党(民主・社民・共産・生活)
とオールとやま(土井・屋野)懇談会

以降、週1回のテンポで集まってもらひ

3月末まで統一候補実現に努力